

昇マラボ Vol.11

2022.03.31



Cyber Physical System
Laboratory

卒業生からのメッセージ

ご修了・卒業おめでとうございます。
2021年度最終号ということで、今年度佐賀大学を離れる皆さんに、研究室へのメッセージを書いて頂きました。
新B4, M1, M2の皆さんは先輩方からのメッセージを見て頑張っていきましょう！



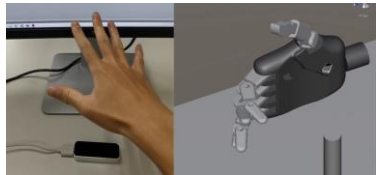
お世話になりました！

この研究室で良かったこと、なんて書き始めたら修論越えそうです。いや、確実に越えます。そのくらい皆さんのことを学ばせていただいたき、貴重な経験を積み、全力で楽しむことができた、あつという間の3年間でした。先生方をはじめ研究室での活動を支えて下さった皆様、本当にありがとうございました！！

宮田 竜輔(福田研究室)



上級生のバトン



修了にあたって改めて感じたのは、過去の先輩方への畏敬です。意味不明なほど忙しい中突然飛んでくる仕事、優先事項を自分で決められないもどかしさ、その中で後輩の補助もしつつ趣味も楽しんでおられて脱帽します。私も一介の上級生として機能…できませんでしたが、できていたと少しでも思える何かを残せていたら幸いです。

築地 貫太(山口研究室)

学生生活を振り返って

やろうと思ったらすぐに行動に移した方がいいという説教はよく聞くのではないのでしょうか。私も意味は知ってはいたものの深く考えたことはありませんでした。しかし新型コロナの流行でこの言葉の意味を痛感しました。学生生活は長いようで短いです。くだらないことでもやってみたいと思ったことは積極的にチャレンジしてほしいと思います。

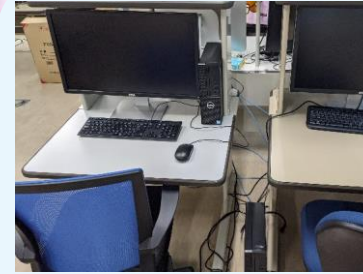
溝口 朝斗(奥村研究室)



お世話になりました

1年間、あつという間に過ぎた気がします。夜遅くまで研究室に残って、終電ギリギリに帰ったり、研究室に泊まったりと研究生活のテンプレを味わうことができました。私は前を見て進み続けることしか出来ませんが、少し後ろを振り返った時、良かったなと思える研究室の日々でした。1年間、ありがとうございました。

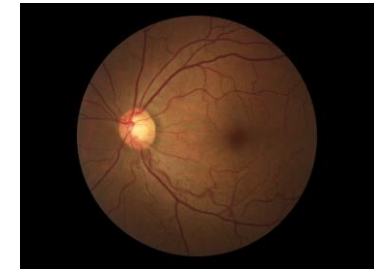
志田 亮介(福田研究室)



CPS研の皆様へ

コロナの影響でオンライン化が進み、研究室に中々行く機会がありませんでしたが、顔を出した時は先輩方が気さくに話しかけてくださったので、この一年半を楽しく過ごすことができました。また、卒論発表のスライド作成でも様々なご意見をいただき、より良いものを作ることができました。本当にありがとうございました！

陳 美緒(奥村研究室)



みなさまへ

約一年間大変お世話になりました。新型コロナウイルスの影響もあり、研究室にいる時間は少なかったですが、研究を進める際に研究室に行った時には先輩方が忙しい中、優しく助けていただきました。良い研究室にはいれてよかったです。本当にありがとうございました。

船原 優希(山口研究室)



山口先生と上田先生の対談



先日、少し機会がありまして上田先生と対談してみました。上田研とCPS研との違いが分かればと思います。(左写真は上田先生が作成しました「がんばれ!熊本 ミニ四駆(くまモン版) パステルブルーシャーシ!!」です。)

山口先生:早速ですが上田先生から見てCPS研はどう見えます?

上田先生:僕から見て楽しそうですね。ワイワイしているし、4階で学生の雰囲気が良さそう。

山口先生:上田研も良さそうですね。

上田先生:上田研は上田研だけでしか活動していない所があります。ゼミや飲み会も上田研で。

山口先生:それですかね?研究室をまたいでの(上田研とCPS研とSS研の)飲み会を企画していましたよね。コロナで中断していますけど。

上田先生:あったらいいなと思いましたが、僕たちの世代は飲み会やレクリエーションに面倒を感じる世代でもある。グループで楽しむより仲の良い人たちで楽しみたい。その辺の線引きが難しいかもです。でも、それ抜きにしてもCPS研の学生さんたちはやっぱり楽しそうですね。

山口先生:CPS研は研究室をまたいでのグループ意識が強いかもしれませんね。ゼミや飲み会もCPS研で。

山口先生:3年生が研究室配属されて研究室の人数が増えましたね。上田研では3年生をどう指導しています?

上田先生:3年生は週に1回ゼミに参加・発表するだけです。

山口先生:やっぱりそうですね。

上田先生:プログラミングを解いてその計算時間とかをまとめて発表してもらおう。毎週。

山口先生:演習じゃないですか。かなりしっかり指導していますね。

上田先生:あと、科学英語的なことも少し。プログラミングの問題を英文で出すとか、英語の論文を読んで発表してもらおうとか。

山口先生:英語はどうですか?山口研は国際会議(英語)で発表するとなると学生さんが途端に引いていきます。

上田先生:「英語の論文読んでね」は、野球やったことがない人に甲子園でピッチャーして来てね、位難しいし「英語で発表して来てね」はメジャーリーグで投げてきてね、位難しいと思う。英語の論文は作成から発表、質疑応答までしっかり指導しないとイケないですね。(次回に続く)

【宣伝】上田先生執筆の記事が「日経ソフトウェア2022年5月号」に掲載予定です。皆様、興味がありましたらぜひ購入下さい。

在校生代表メッセージ

ご卒業・修了おめでとうございます!

M2の先輩方には、研究室に配属された頃から、めちゃ可愛がってもらって楽しい思い出ばかりです。何気なく先輩方と喋る時間が僕にとっては、とてもかけがえのない時間でした。B4生のみなさんは、研究室が目まぐるしく変化を遂げていく中での配属で大変だったことも多くあったと思います。先輩として、どれだけのことができたかは分かりませんが、みなさんが卒論に向けて着実に成長する姿から自分も頑張らないといけないなと元気をもらっていました。

卒業・修了されるみなさん、本当に楽しく幸せな時間をありがとうございました!またいつか会える日を楽しみにしています^^ 執筆:江口 大雅

10月からCPS研にB3が大勢入ってきて非常に賑やかな研究室になったと感じています。

B3は新カリキュラムによってとても優秀な人たちが集まっており、中にはB4の私たちよりも発表が上手いひとがいたり、先輩である私も負けてられないなという刺激になっています。

来年度からは大学院生になるということで、おそらく最後の学生期間になると思うので、すでに話が出てきているのですが海外の学会に参加するなど、今しかできないことに挑戦していけたらいいなと思います。

執筆:森本 大貴

編集後記

●背景写真

卒業シーズンにぴったりな桜にしました。【第1回CPSL杯】PUBG mobile

